

-----  
5 番 小野 恵司 議員  
-----

議長（中西 康雄君） 引き続いて、通告順 4 番 小野恵司議員の発言を許可します。  
小野議員。

-----  
5 番（小野 恵司君） 4 点ほど質問させていただきます。まず 1 番目に庁舎内の禁煙について、お伺いします。厚生省の進める健康増進法によってだと思っんですけれども、1 月 1 日からこの大台町役場の庁舎内も禁煙になりました。ルールを守って喫煙していた方々もいらっしゃるわけで、そういう方に庁舎外、役場の裏に一応喫煙施設があるんですけれども、そこで吸っていただくようにということで、冬なら寒く、夏から大変暑い場所で、また雨にも濡れたりする場所で、一般の方にたいへん不自由をかけやなあかん場所になっておると思っんです。そこで 2 点ほどお伺いします。

まず 1 番目に今まであったものがなくなるということで、僕は一つのそれが住民サービスの低下につながっていると思っんで、町長の見解を一点求めたいと思います。

そして 2 点目にですね、たばこ税というものをとっているわけですね。だからたばこを吸う方からやっぱりそういう税金をとっているの、そういうたばこ税を使って、そういう施設の整備を進めていくべきだと考えるんですけれども、町長の見解をお伺いしたいと思います。

-----  
議長（中西 康雄君） 尾上町長。

-----  
町長（尾上 武義君） それでは、庁舎内の禁煙についてのご質問にお答えをいたします。この 1

月から庁舎内を禁煙にしているわけなんです、健康増進法によりまして、自分の意思とは関係なく、他人のたばこの煙を吸ってしまう、受動喫煙による健康被害を防いで、健康で快適な環境づくりのために実施したものでございまして、大台町のみでの取り組みではなく、全国的にどの地方公共団体も取り組んでいるところでございます。

1月の実施以来、来庁される住民の皆さんからの問い合わせも、特にはございませんで、自然に受け入れてもらっているものと感じているところです。また現在利用しております喫煙場所の整備の件につきましては、たばこ税及び他の財源を使って喫煙所の整備をすることは考えておりませんが、現在の場所が最善であるとは思っておりませんで、多少の手直しも含めてですね、今後、考慮していくことも必要かと思っております。

ご承知のとおり喫煙はガンの原因の約30パーセントを占めているほか、心臓病などさまざまな病気の大きな要因となっていますことから、医療費の抑制や町民の方々また職員の健康保持の観点から、禁煙対策の取り組みを進めていきたいと考えております。

逆に住民サービスの低下やなしに、長い目でみたら、住民サービスの向上ではないかなと、こう思っておりますのでどうぞよろしくお願ひしたいと思ひます。

-----

議長（中西 康雄君） 小野議員。

-----

5番（小野 恵司君） そういう観点からも取れるんですけども、何人からの方々からやはり不便だというお声もいただきまして、今まであった場所でフッと火を付けたら、そういう場所がなくて、慌てて外に出たとかというお声もいただいて、また喫煙場所に行くまでに役場の窓口の前をうろろう通って行かないかんとということで、行きにくいということもあります。

そういう部分もありますので、別にそれは健康増進法というものが、中で吸ったらいかんとということも謳ってないんで、ちゃんとそういう部分の施設の整備をして、分煙化を進めていって欲しいということをお願ひしておりますので、確かに町長言われましたけれども、そういうことですね、もう少し考えて、来庁される一般住民の方のことも考えていただきたいと思ひます。

そしてその過度の思い込みによって、それが今は外で吸うようにということなんですけれども、そ

れがこの敷地内の禁煙ということにならないように、あまり皆様に不便をかけないようにしていただきたいと思います。そしてさっきも町長言われましたんですけども、おとしよりの方とか、車椅子の方なんかも、吸いにいく場所に段があったりするんで、そういう場所も考えていただきたいと思っておりますが、再度町長の見解を求めたいと思います。

-----

議長（中西 康雄君） 尾上町長。

-----

町長（尾上 武義君） 先ほど税の話も出たんですが、これはたばこ税ということだけで、いわゆる一般財源というようなことでもございますんで、その必要性があれば対応はしていかなければならないのかなというふうに思っておりますが、これまでお客様として一般の町民の皆さんみえる場合がございます。また町外の方がみえる場合があるわけなんですけど、流れはやはり新幹線でも新型の車両でも、箱と箱の間に禁煙所がありますよね、3人、4人ぐらい入れるようなところがあるんですけど、それも撤廃していくというような、丸きり禁煙という状況が出てくる。

駅のホームも駄目というようなことになってきておる。千代田区や名古屋市を歩いてたばこを吸うたら2千円とられるというような、そんなようなことですから、それほどそこまではするかしないかというのは、別としまして、する必要はないと思うんですけども、いわゆる庁舎内禁煙ということ、学校あたりでももう敷地内禁煙というような状況になっています。学校ではそうはいかないだろうと思うんですけど、そこら辺は多少は考慮しながら、まことにその庁舎内、庁舎の外でも駄目よというわけには、これいかんと思うんですね。

そこで吸いやすいようにというようなことで、新たにその場所をつくるというのは、ちょっと無理かもわかりませんが、ちょっと手直しすると、今でも裏で吸っておりますけれども、その少し手直しするとかということは必要かなと思うんですけども、大それたようなことはできないような事でもございます。本当にちょっとなぶるようなことでもございますので、その程度になるのかなというふうに思います。

また車椅子とかそういったようなことで、体の不自由な方とかみえる場合もあろうかと思うんですけども、役場へ向いて2時間、3時間とか長時間みえるというケースは少ないようなことでもござ

います。小野議員さんおみえですけれども、一般の方では非常に少ないというふうなことになるのかと思いますので、その程度のご辛抱もいただかんらんと、こういうようなことで一つご理解をいただきたいなと思っっているところであります。

そういったようなことも含めて、全体的にその健康づくりの推進をする拠点だというような位置づけにもなってきますので、そういうようなことで進めていきたいと、こう思います。よろしく願いします。

-----  
議長（中西 康雄君） 小野議員。

-----  
5番（小野 恵司君） 2点目の質問に移ります。

三瀬谷小学校、川添小学校、また統合保育園についてお伺いします。12月にも一般質問でお伺いしたんですけれども、その後の進捗状況ということでお伺いしたいと思います。

まず1点目に現在の進捗状況ですね、川添小学校の体育館も工事の内容が変わって、工事の方法が変わったということで、その工期の遅れの心配はないのかという1点と三瀬谷小学校の現在の体育館の進捗状況の点をお伺いしたいと思います。とすいません、2点目に統合保育園はこの3月24日に竣工が行われるということで、ほぼ完成なんだなということは思っているんですけれども、見てもらったらわかるんですけれども、その保育園の屋根が瓦屋根と、あれば瓦ボウ、折半屋根というんですか、瓦ボウの屋根とありまして、確かに雨漏り等のことを考えてだとは思うんですけれども、あまりにもちょっと統一性がなさすぎる、言ってしまうとセンスが悪いという話なんですけれども、そんなこと、もうできてしまったことに対してはどうか言えやんのですけれども、そのことについて、町長はちょっとどういう見解を持っているのか、まずお伺いしたい。

それでその明かり取りって、最近よく付けているんですけれども、その公の施設に、そういった明かり取りというのは、本当に要るのかどうか。そしてまた予算が町の財政が厳しいという中で、瓦屋根とそういうことを考えてはなかった、いいものを建てたいという思いが強かったんだと思うんですけれども、ちなみに瓦のみとトタンのみと、瓦とトタンの混合の屋根というのは、いくらぐらい違うもんなのかということをお伺いしたいと思います。

-----  
議長（中西 康雄君） 尾上町長。  
-----

町長（尾上 武義君） それでは川添、三瀬谷小学校の体育館、そして統合保育園についてのご質問にお答えをいたします。

1点目の進捗状況でございますけれども、川添小学校の体育館耐震補強工事につきましては、今日現在でアリーナの下地の調整と、塗装及びコートラインの施工が残っております。このことにつきましては、去る1月29日の全員協議会でも説明をさせていただきましたように、小屋組みの梁を受けるアンカーボルトの位置決定に時間を要したこと。

それから学校側が3月18日の卒業式にむけて児童の練習を、3月10日から行いたいということで、残工事を3月19日、卒業式の翌日ですが、そこから行って3月30日に完成する予定と、こういう状況でございます。

次に三瀬谷小学校の体育館の改築工事なんですが、建築確認に加えまして、構造計算適合性判定の審査に時間を要したと、こういうことで工程的にかなり遅れまして、現在1階部分の付帯コンクリートの打設が完了し、3月24日から修正材の建て方が始まりますということで、完成予定は外溝工事も含めて5月の末日となっているところであります。

したがってまして年度内完成は見込めませんことから、繰越を予定しておりますので、その点ひとつご認識をいただきたいと思っております。

また体育館の改築工事が卒業式及び入学式までに完成できなかったことに対しまして、大変申し訳なく思っているところでございますが、そうした中で子どもたちが少しでも良い環境の中で式典をやっていただきたいという、そういう思いから2月上旬に校舎の3階の多目的ホールの床を新しく整備をさせていただいたということでございます。

なお同時施工のプール及びプールの付属棟の改修工事につきましては、プール本体の据え付け及び付属棟の内部仕上げを行っている状況にありまして、これは3月末には完成をいたします。

統合保育園につきましても予定どおり順調に進みまして、3月10日、事実上、今日完成をしたと、こういうことでございます。

その屋根の件なんですけれども、えらいセンスが悪いなど、こういうふうに言われたんですが、これは私が決めましたんで、ええと思て決めました。それは主観の違いもあるのかなと思うんですが、それはそういうことでおみとりをいただきたいと思いますが、町としましては当初の設計段階において、屋根はすべて瓦ふきにする予定でございましたんですが、瓦屋根とするためには、屋根の勾配が一定、4寸以上なんです、それが必要でございまして、特に多目的ホールから保育室における断面幅のある屋根を、瓦葺きにした場合に屋根の勾配を確保するために、建物の高さが高くなりまして、屋根面積が広がることで、建設経費が嵩むことになります。

屋根の勾配を緩くすることで、建設コストをおさえながら、雨漏り対策に万全を期するため、耐久性に優れたガルバリウム鋼板を採用したということでございます。明かり取りにつきましては、保育所内の居室空間を明るくするだけに設置しているのではなく、建築基準法において排煙用の窓を設置しなければならないため、明かり取りと排煙用の機能を有した窓を、腰屋根の壁面に設置をいたしております。

経費的な比較につきましては、現行の混合屋根の工事費用として、鋼板屋根の部分が424万3千円、陶器瓦の関係で1,142万6千円の合計で1,566万9千円となっております。全ての屋根を瓦葺きにした場合は、鋼板から陶器瓦に材料を変更するための差額として、約350万円。屋根の勾配を変更することによる建物の高さや屋根面積が増えるための柱や構造材及び材料代等に約650万円の合計1,000万円ほどの工事費用が増えることが見込まれます。

また全ての屋根を鋼板とした場合は、材料代が安くなるために、工事費用として合計1,063万9千円となりまして、現行の混合屋根の工事費用と比較して503万円ほど安くなると考えられます。

以上のとおりでございますが、議員ご指摘のように、屋根が瓦と鋼板では見た目には不統一な感じとして受け止められるかもしれませんが、建設コストをおさえながら、園児の快適で安全な生活空間を確保することを、最優先に考えて設計施行したものでございますので、ご理解を賜りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

-----

議長（中西 康雄君） 小野議員。

-----

5番(小野 恵司君) えらいセンスが悪いと言って、町長と僕の、僕のというんですかな、見た目の見解で、十人十色なんで、人それぞれ考え方はあると思うんですけれども、何故そういうことを言うかという、12月の議会で雨漏りのこと、建物のなんちゅうんですか、景観よりもなるべくは雨漏りに注意をしてくれという話はしたんですけれども、多分コンペで出した時に、初めが瓦やったもので、その勾配をつけやないかんという観点から見て、そこだけ瓦ボウになったと思うんですが、それならその予算的なことで含めたら、それやったら全部合板でいったら良かったと違うかという話にもなってくじゃないですか。

外のトイレと今はもうできたんですが、外のトイレと物置があって、物置はよう瓦ボウなんですよ、トタン葺き、トタンというたほうがわかりやすいんで、トタンなんですけれども、トイレは瓦なんですよ。それやったらトイレも別に、予算が財政が厳しいというんやったら、トタンでよろしいじゃないですかという意味も出てくるじゃないですか。

だから例えばこの中でももう500万円からの差が出てくるというんやったら、あくまでももっと統一性のとれたもので、そういう部分で考えても良かったと違うのかなという点がまず1点。もうできてしまったものはしょうがないですよ、これからまたそれに関して、こういう事のもんになったら考えてもらったら如何かなという話なんで。

2点目にあまりこういうことは僕、望ましくないというのは、たしかに耐久年数は何十年も持つ物ではあるんですけれども、その場所では瓦と瓦ボウとやったら、耐久年数自体が違うんです。そうなった時に補修とか修理になった時に、また年数が違うんで、何十年て持ちますけれども、場所によって工事の仕方が、また余分な工事も出てこんならんということがあって、なるべく統一ほうがええんと違うかという部分なんです。

でもう一つなんですけれども、これは感性の違いなんで、いちがいになつとも言えやんですけれども、誰が見ても言うたら変なんですけど、僕の中では結構言われるんですわ。なんかああいう違いが出てくるんやという話を、よく住民さんから言われますんで、その中で教育委員会の予算の中で、文化交流の中で今回も入っていると思うんですけど、本物の芸術を見る鑑賞するというものがあるんですね、ああいう施設の建物というものも、やっぱり一作品になるわけ、アートなわけなんですから、そういう部分でもっと淘汰したもの。誰が見てもという部分で考えていただければ、その瓦ボウにしたことは、僕はその勾配がないんで、それはいいと思うんです。

そやけどただもうちょっと色のセンスであるとかということも考えて、周りにもうちょっとなんちゅうんですか、マッチするようなもんもなかったんかなという話なんで、そこら辺も踏まえて作品という部分で見た時に、3億5千万ぐらいかけて建てたもんなんですから、皆さんが納得するようなも

のを建てていただければなと思うんで、そういうことを言わせてもらったんで、これからそういう公の施設を建てる時に、そういうことをひとつ参考にしていただければどうかなと思うんですけども、町長の見解を求めたいと思います。

-----

議長（中西 康雄君） 尾上町長。

-----

町長（尾上 武義君） このいくら違ういくら違うというのはですね、小野議員の質問にもありましたので、額を出しただけのことでございますので、そのことか結果として混合ではオール瓦より安いし、オールタンやったらもっと安いしというようなことで、お話をさせていただいた、こういうことです。

耐久年数がそれぞれ瓦とタンでは違うよというふうなことにもなってきますんですが、そこら辺は十分今後気をつけながら、どこが違うんか、私もだいたい同じぐらいもっていくやないかなとは思っておるんですけども、またそれは気をつけながら対応してまいりたいと思います。

色のセンスとかいうふうなことでしております。瓦はちょっと赤みかかったような瓦、そしてまた瓦ボウが黒に近いような感じのグレーの濃い、そういうようなことで合わんのかもわかりませんが、私はああいうふうなちょっと好きですので、そういうようなことさせてもろたのですが、そういう違いがありますんで、またある人が見たら素晴らしいと言うかわかりませんが、十分そこら辺の配色について、気をつけてやっていきたいと思いますので、またそういう公共施設を建てる際には、事前に全員協議会等々にかかせさせていただくというふうなことになると思いますので、またその時にまたしっかりとお話を伺えたらと、こう思いますのでよろしくお願いしたいと思います。ありがとうございました。

-----

議長（中西 康雄君） 小野議員。

-----

5番（小野 恵司君） 3番目の質問に移ります。自力をつける大台町ということで、3月の年度の当初予算のことも言われたんですけども、歳出というものもあります、なるべく抑えていきたいという話ではあるんですけども、歳出というものはいくら抑えても、出は出なわけなんで、これからはやっぱりいかにその自力を付ける大台町ということで、歳入というものを、町が儲けるという話ではないんですけども、なるべくどうやって増やしていくかということも考えていくべきではないかと思うんで、それについてまず1点目に町長はどう思われているのか、まず1点目に見解をお伺いしたいと。

そして2点目に、この4月からホームページや広報おודい等でも、開催される予定みたいなんですけれども、広告料を一般のところから見て、広告料をとっていくという話もあがっているみたいなんですけれども、この庁舎のあいているポールへですね、その庁舎内のあらゆるものというものを、一例としてですね、活用してそういった看板料とかも取ってもいいんじゃないかと、取れるんか取れやんかは、またその話も聞きたいんですけど、そういうことも考えていっては、一例としてですね、いってはどうかと思うんですけども、町長の見解を求めたいと思います。

-----

議長（中西 康雄君） 尾上町長。

-----

町長（尾上 武義君） それでは自立を付ける大台町ということで、いかに歳入を増やすかということでございます。まず予算編成にあたりましては、町民の皆さんへの行政サービスが低下しないように配慮して、水道施設あるいは防災無線、橋梁の耐震化など早急に対応しなければならない事業に対しまして、集中的に予算化をするなど、限られた財源のもと歳出を必要最小限に抑えるよう努めているところでございます。

しかしながら、議員ご指摘のように健全な財政を維持するためには、歳出だけではなくいかに歳入を増やすことができるかと、これを考える必要がございます。そのためには地場産業の振興はもとより、小さなことまで掘り起こし、財源確保に務めなければならないと考えております。

私がよく言う広告料というのはそういうことでもございます。私は自立をつけるための一つの方策として、都市と集客交流を進めることも大切であると考えております。このことにより、町内消費が拡大しまして、地場産業や商工業の活性化が図られ、町民も元気になりひいては町税収入も増加し、町も元気になってくると、こういうことが言えると思います。

また町財政の柱であります町税につきましては、当然納付されるはずの税金が過年度と現年度あわせて2月末現在で、約1億1,200万円ほど滞納となっております、町税等の収納対策強化も図らなければならないと考えております。

議員ご指摘の有料広告につきましては、新たな財源確保として、財政難に苦しむ地方公共団体では、行政が発行する広報紙をはじめ封筒、パンフレット、冊子等の印刷物や町のホームページに、有料広告を掲載するほか、公用車や公衆トイレ等の空きスペースを利用した広告掲示、あるいは福岡ドーム球場をヤフージャパンスタジアムと命名しているような、公共施設に企業名をつけることのできる権利など、多くの地方公共団体が知恵を絞って財源確保に取り組んでおられます。町といたしましても、財源確保の観点から公共物等への有料広告掲載について、21年度からまず広報おおだいと大台町ホームページで行うこととし、広報3月号にて広告主の募集をしたところでございます。

今後は町営バス時刻表や町民カレンダー、封筒などへの広告掲載、更には広告主の応募状況をみながら、公用車や役場等の公共施設の空きスペースにも、広告掲示できないかと考えているところでございます。

こうした財源確保にむけた取り組みにつきましては、職員一丸となって知恵を出して進めていきたいと考えているところであります。今後ともご指導賜りますようお願いし、答弁いたします。

-----

議長（中西 康雄君） 小野議員。

-----

5番（小野 恵司君） これからいろんなことをやっていくということで、もう先に考えているということなんで、ひとつ安心したわけなんですけれども、一つだけなかなかそういう方もいらっしゃらないと思うんですけど、できればよくどんとこい祭りになると、なんていうんですか、前のコメントあるじゃないですか、あそこにバンと、どんとこいは何時何日からというてやりますんで、

あそこにあげることもない、そんなになんと思うんですけど、ああいうところや庁舎のこの前部のガラス張りのところに、バンと落ちるようなものでもあってもいいんじゃないかなとも思いますので、そういうこともまた検討して、もしあればですね、そういうこともできますよということを、それは町長の判断次第やと思うんですけども、考えていただければなと思うんですけども、再度求めたいと思います。

-----

議長（中西 康雄君） 尾上町長。

-----

町長（尾上 武義君） 庁舎にモニュメントあるいは庁舎そのものにそういった掲示ができないのかどうか、ガラス張りの庁舎でもありますので、可能かどうかというのは検討もしてですね、そういうのが適切なかどうかということも含めて検討はしたいと思います。

ちょっと私のほうから予算の編成にあたって、指示したことがあるんですけど、お茶とか木材の産地ですから、お茶は急須で飲みましょうと、家は国産材で、地元材で建てましょうというような、懸垂幕のようなことなんですけど、つくって本庁とか各出張所ですね、そういったようなところに掲示するよということ、さしてもらっておるんですが、そういったような地域ブランドというのか、そういうのを広めていかないかと思っておりますので、少しでもそういうような産地でもあるということも意識づけは当然、行き交う人にもわかってもらわないかというようなこともありますので、そういう対応をしていきたいなと思っておりますが、今の広告についてはですね、できることから対応をしていきたいなと、こう思っておりますので、一つ参考にさせていただきたい思います。ありがとうございました。

-----

議長（中西 康雄君） 小野議員。

-----

5番（小野 恵司君） 4点目の質問に移ります。パーキングについてということです。先ほど来、同僚議員の方、大西議員さんやら、松原議員さんからも、パーキングについて質問があったわけなんですけれども、それに付け加えてという部分で、色々お聞かせ願いたいと思います。

2月5日にこの2月の5日ですね、パーキングが奥伊勢パーキングがオープンしまして、そして2月7日に紀勢大内山インターチェンジが開通いたしました。便利になるがトンネル化で大台町を通りすぎる懸念があると、町長がはしよってなんですけれども、新聞のコメントに書いていたわけです。

だからこそその重要なポイントだとか考えるという話もありました。パーキングの内容として、町の関わり方をお伺いしたいと思います。

まず1点目に大台町が3千万の出資をするわけなんですけれども、その出資金の使い道の詳細をお伺いしたいと思います。そして後、予定で800万円、一般の商工会関係の方から集めるという話だったんですけれども、一体その出資金はどれくらい集まって、どういう状況なのかという部分も、お伺いしたいと思います。

2点目に責任者、副責任者の選ばれた理由はということなんですけれども、初め当初の説明の予定では、責任者だけの話で、お伺いしておりましたが、それが急遽なぜか副責任者というものも置いたものですから、それについてもお伺いします。

3点目に7月、町長はなるべく早くという話やったんですけれども、7月ぐらいからそのパーキングの部分で、飲食部門を開催するという話なんですけれども、それについては間に合うのかという部分でお伺いします。

4点目に、その会社の方向性ですね、今後の会社の方向性、またその会社の持つ理念、できたばかりの会社なんで、そういう部分というのはしっかり重要になってくるんで、そういうのはどういうものか、お伺いお聞かせ願いたいと思います。

5点目に大変先ほど来、皆さんが一般質問でされているように、大変重要な拠点になってくると思います。だからこそ大切にしなければならないと考えるんですけれども、これからの大台町がそのパーキングに対しての関わり方というんですが、どんなふうに関わっていくのか、とりあえずその10年というスパンで見方を変える、考えていくという話やったんですけれども、この10年間の関わり方、またそしてこれから町としても、また出資の増額などを考えているのか、お伺いしておきます。

6点目には、このパーキングまた紀勢大内山インターができたことについて、道の駅等の状況というのは変わったのか、お伺いをしたいです。

7点目にこのパーキングが大台町にあるということで、しっかりとした町としてのリーダーシップ

が問われると思うんです。町長の意気込みというか、思いというのを伺いをしたいと思います。

-----

議長（中西 康雄君） 尾上町長。

-----

町長（尾上 武義君） それでは、奥伊勢パーキングについてお答えをいたします。

まず1点目の出資金の状況でございますが、大台町と大紀町がそれぞれ3千万円、両町の商工会がそれぞれ50万円で、現在の出資総額は6,100万円となっております。現在の出資申し込みを受け付けておりますので、その状況でございますが、大台町商工会員の皆様から約1,000万円、大紀町商工会員の皆様からは約200万円、そのほか第3セクター、銀行、JA等で約300万円となっております、出資総額は7,600万円程度になる見込みでございます。

増資分の取り扱いにつきましては、第2期の取締役会で提案をさせていただく予定と伺っております。なお出資金の用途につきましては、店舗の木製テーブルや木製の展示棚、陳列用の冷凍庫や冷蔵庫等の設備に約1,000万円、事務所に設置をしました金庫、パソコン、ストックヤード用のスチール棚など、約100万円。中日本エクシスとの契約時の敷金90万円、会社の法人登記等の事務委託に70万円など、現在までに総額で1,260万円を充当いたしております。

今後は上下線の厨房施設の内装工事や、調理備品等の整備にそうとう費用、約3,000万円ほどの見込みでございますが、かかる見込みでございます。

2点目の会社に責任者と副責任者を配置した理由について、またいつ決めたのかということでございますが、従業員採用の面接終了後に、面接をいただきました紀勢道パーキングエリア開業準備協議会の委員の皆さん、これは両町から3名ずつなんですが、協議をいただきまして、責任者の決定については、パート従業員が比較的年齢の高い方を採用したということで、ある程度、年齢も高く経験も豊富で指導力のある方を、責任者にすえたほうが従業員の管理あるいは指導を行っていく上でよいのではということで、委員の皆様が判断をしたと聞いております。

また副責任者を置くことになった経緯につきましては、まず店舗が上下線にわかれました、それぞれの施設にしっかりした管理者が必要であるという考え方と、そしてまた立ち上げ時は納入業者や中日本エクシスと関係機関との交渉や調整、そして従業員教育、さらに労務管理など、非常に煩雑で多

忙となりますので、補佐役として副責任者が必要ということで、そのことを決めたと聞いているところでございます。

3点目の飲食の営業開始についてでございますが、当初、7月予定いたしてはいたんですが、なるべく早い時期に飲食の営業を開始したいと考えているようです。中日本エキシスからもなんとかゴールデンウィークまでに、飲食の営業ができないものかという要請もきているようでございますが、可能な限り早期の営業開始をめざしたいと考えております。

どのようなメニューでどんな体制なら可能なのかということで、現在会社内で協議を重ねているわけなんですが、私としましてやはり地域の特色あふれるような、そういう食事の提供ということが、非常に大事やないかということを思っております。

4点目の今後の会社の方向性や会社理念についてでございますが、会社の定款では目的として飲食店、売店の経営あるいは食品、飲料水及びたばこの販売ですね、それから農産物、水産物、木製品、加工及び販売、観光案内に関する情報の提供、各種のイベント等、企画、運営、管理。前各号に付帯する一切の業務と、こうなっているわけでございますが、この会社は住民の皆様の商品を中心に展示、販売をさせていただくということとともに、地元の食材を利用した飲食の提供、そして施設内で大台、大紀、両町の観光PRを積極的に行って、各インターで降りていただくように働きかけるという3つの大きな役割を担っているところでございます。

会社は利益追求の姿勢は必要でございますが、高速道路利用者の皆様と地域をつなぐ橋渡しという役割を十分認識しつつ、会社運営を行っていただくようお願いをしているところでございます。

5点目の町はどのように係わっていくのか、また出資の増額などあるのかというご質問でございますが、町としましては基本的には増資は考えておりません。しかし新たな投資や経営の拡大など、必要があれば両町で検討していかなければならないと考えております。当面は両町で出資した6千万と、民間企業等の皆様からご協力いただいた出資金を、設備投資や運転資金にあてて、経営の安定化を図ってまいりたいと考えております。

6点目の道の駅奥伊勢大台への影響についてでございますが、まだ奥伊勢パーキングが開業して、1カ月でございますので、細かく分析はできておりません。パーキング開業後の道の駅の売上と、入込客数を前年度と比較しても、ほとんど影響はございませんでした。

7点目のパーキングの所在町として、私のリーダーシップが問われるというご質問ですが、これまで私は煽動的な立場でこの事業に係わってまいりました。今後もこの姿勢は変わることはございません。しかし会社を成立した限りは、代表取締役社長を中心に、私を含めた取締役が会社の経営方針を定め、その方針に従いパーキングの運営については、責任者を中心に従業員が一致団結して、業務に

取り組む、このことが大事でございます。

町としましては、大紀町とともにこの施設を活用して、積極的に地域の観光情報の提供やイベントの開催等を行い、奥伊勢地域への集客拡大に努めてまいるとともに、新たな特産品など商品開発や、京阪神や中京圏の旅行業者やバス会社に対しパーキングの利用と奥伊勢への立ち寄りを勧め、交流人口の拡大を図ってまいりたいと考えておりますので、ご理解をいただきますようお願いし、答弁とさせていただきます。ありがとうございました。

-----

議長（中西 康雄君） 小野議員。

-----

5番（小野 恵司君） 町長にこの一般質問でパーキングについて、色々お伺い今回しているわけなんですけれども、言うてええんか、聞いて答えれるんかという部分も確かにある、その関わり方の問題ですね、出資の取締役という立場であるだけで、会社の経営ではないわけですね、町が。

だからその今後のその取締役会というものに対して、参考にしていただければとは思いますが、その前ですね、町長のほうにも決めた人事のことであるとかいうことで、町長に初めに耳に入っていることで、町長もそれに対して何か意見がなかったんかということ、お伺いするんですけれども、まずは1点目に3千万の出資と、人事にも絡んでくることなんですけれども、その初めに両町で出資すると、上下線ある、そんなものわかっておるわけです。

その責任者をおいて、その責任者が回らんと違うんかという懸念もあったわけじゃないわけですか、初めに。後で副店長、副責任者をあとで置くという形になったわけですね。初めの説明ではそんなことなかったわけですね。

だからその当初の組んでおった予算、その10年ですね、3千万の運転資金というものは、そういう人が入ったばかりに食い込んでいくと違うかなという懸念もあるわけですね。そこら辺は心配ないんかという部分と、場所的なもんは関係ないかもしれないんですけど、責任者が大内山の人ですね、副責任者が阿曽の人なんです、両方とも大紀町です。パート責任者も大紀町なんです。僕はそんなにも大紀町の方が、確かに有能な方ばかりだろうと思うんですけど、僕は大台町の方も何人が受けとらっしゃった中で、そんなに大台町の方が優秀じゃなかったのか、これは町長に言うても仕方がな

いんかと思うんですけど、またましてや選んだ人事が、責任者の方が65才もう半ば、高齢の方ということで、これからやっていくというものに対して、さっきもそういう人事の教育点という部分から言われましたけれども、もうちょっとなかったんかと思うんですよ。

また副責任者もですね、どうなんかと思うんですけど、内容的にあえて言わないんですけど、そこら辺の懸念もあるんでね、そういうところが問題じゃないのかなと非常に思うんです。それに関しては耳にも入ってきた時に、町長はなんにも協議会で決めたことやったら、確かに選んだ方が立派な方ばっかなんで、その人の言うことやったら間違いのないやろと思て、町長もああそれでええのと違うかと、耳へは絶対に入ってくると思うんでね。それで行けよという話にはなったと思うんですけども、そこはちょっと待てよということには、まず思わんだんか、1点聞きたいです。

そしてその3千万のその初めに人事を変えたことによって、その運転資金というのは食い込んでいかんのかという部分の心配も、まずお伺いしたい。そしてもう一つ言いたいのは飲食部門するってわかっておんのに、これから飲食するてわかっておるわけですね、7月から飲食を開始するって、それやのにこの店長の責任者、副責任者は店長はもう、店長てあかんですね、責任者は金物屋さんで、副責任者はガソリンスタンドですわ、飲食の経験もないような人が、そんなとこへ入って、これから飲食をしてくんやという中で、はたしてそれが本当にうまいこと、じゃそれがぱっとオープンした時に、いくんかという心配ですね。

そこは思わんのかという部分ですわ。その心配、僕は絶対あると思うんです。パーキングなんていうものは常時よるもんじゃないですか、ちょっとあそこのパーキングへ行ってこうって言うべきもんじゃないんで、一見さんみたいな方もいっらしやるわけですわ。ということは素晴らしい対応を、常日頃からしておかないかんのに、そのオープンをしたが、もうてんやわんや、ただでさえぱっとなると思う、てんやわんやになると思うのに、そういった経験者とか、そういった人がいないということは、僕はその飲食する部分に1店舗ならいいですよ、2店舗あって、常時それが一定のものが出せるかといったら、すごく心配があると思うんですね。

そういった部分で、本当にこの体制でいけるんかという懸念はないのか。お伺いしたい。会社の方向性、これは町が係わっていくことなんで、是非とも町長からこれから提案していただきたいんですけども、町が出資する、また第3セクターという形なもんですから、是非ともこういう場所で障がい者の方が働けるような人事を、せめて上下線あるんで、一人ずつ二人ずつでもパートでそういう場所で働けるような環境をつくっていただきたいと思うんですけども、道の駅なんかでもまだいらっしやらないので、そういう方が是非本当はそういう場所で、町が係わっていく場所であるからこそ、障がい者の方というのが働けるような場所が必要なんだと思うんです。特にこれから厳しい時代やと

言われている中なんで、是非ともそこは町長はどう思っているか、お伺いしたいと思います。

でリーダーシップということなんですけれども、関係はないと思うんですけれども、僕はそのパワーバランスということで、さっきも人事にも関係ないかはどうかわかりません、ないとは思うんですけれども、もうちょっと町長が会社というものがあるから言いにくい部分はあると思うんですけれども、これから町長が先頭に立ってもっともっと宣伝マンになっていただくような形にさせていただきなと思うんですけれども、見解を求めたいと思います。

-----

議長（中西 康雄君） 尾上町長。

-----

町長（尾上 武義君） はいありがとうございます。この副責任者を置いたことで、出資したお金に食い込んでいかへんのかと、こういうようなことでございますが、これは食い込む食い込まんというよりも、その事を会社を回していくために、それは必要であったというふうなことになってきたわけですよ。

それは最初の採用試験の募集をかける時に、副責任者というような形では出しておりませんけれども、それが途中からそういうふうにして、これは一人ではとてもやないけど、やっておれんなど、ましてやてんやわんやのいろんな先ほどもちょっと理由があるんですが、てんやわんやのその時期があったということで、本当に2月5日に間に合わしてくれというようなことでの、中日本からの要請も実はあったわけですよ。

それに合わせて会社もつくらんならんわ、従業員の募集はせんならんわ、出すものをまとめてかんならんわ、みんなありとあらゆる労務管理もしてかんならんというようなことで、ありとあらゆることが輻輳をしたというふうな、そういう時期でもございましたんで、これはとてもやないけど、一人その責任者で、一人やれさことになりますと、とてもやないけどこれは回っていけんだらうということの中、副責任者が出てきた。こういうようなことでもございます。

それがその資本金を食っていくのか、食っていかんのかというようなことはですね、やはりそれはしっかり働いていく中で、利益を追求するということも必要でもございますので、それは結果を見ていかなくちゃならないというふうに思います。

この責任あるいは副責任者の前職のお話もされておったんですが、いわゆるそれやったら最初から、あなたのおっしゃるようにするのやったら、最初からそういう経験のある方というふうなことで募集でなければならんと、しかしそれやったら狭められるというふうなこともあるわけですよ。

ですので、いわゆるこれは三セクというふうなことで、広く採用、募集をかせかせていただいたと、こういうようなことなんです。そういう中でご努力は当然いただかんらん、こういうことでございます。それは結果的に大紀町の方ばかりというふうなことになったわけなんです、それについては申し上げられたように、そういう準備協議会で面接もしていただいて、その結果としてそうなってきたというふうなことで、私の方からああせえこうせえというふうなことは、到底言えるような代物ではないということは、十分おわかりいただけることだというふうに思います。

障がいのある方というようなことですね、そういったような人たちも採用いただけるような環境をというようなことで、当然それも必要なことでもあったかと思えます。ただこのことについては、通勤のことも当然出てくるわけなんです、施設の構造とか、そういったようなことで、対応する部分が接客販売というようなことでもございますし、飲食が始まったら、それもまた対応いただかんらん、こういうようなことでもございますんで、この点については、ちょっと不向きな部分もあるんかなと思えますが、今後そういった今町もそのように障がい者の募集もこれ先だってもやったわけなんです、ゼロやったんですけどね、募集公募は、そういうことは当然気をつけていかなければならないというふうに思っております。

ただそういう募集する中で、働けるそういう職場のありようということは、当然考えてかんらんことであると思っているところであります。そういうことで色々今後は取締役会でも経営のことも含めて、いろんな町の観光振興、あるいはその会社内部のこと等ですね、いろんなことが整理をしてかないかんようなことも、多分にあるかと思えます。そういうようなことで、色々取締役会の中でも協議して進めてまいりたいと、こう思いますので、よろしくお願ひしたいと思えます。

-----

議長（中西 康雄君） 小野議員。

-----

5番（小野 恵司君） 議会でも承認されてその3千万という出資金が出る形になったわけですか

ら、この3千万というのは町民皆様のお金を使って、当然出すものですから、それを大切に使用していただきたいという話なんです。だからそういった初めの全説明というものがないと、こちらも困るわけなんです。その議会の立場としても、だからそれを僕らは町民の皆様から聞かれた時に、なんでなんやと言われてから、そんなん急きょそうなったんやという話になってくるんで、こうやってお伺いしているので、よくわかるんですよ、町長のその立場とその事はわかるんですけども、そういった説明というものが欲しいという話。

今後、確かに不向きな障がい者の方には、不向きな場所かもしれませんが、なるべく一つで一人でも二人でもいいですから、そういった部分の雇用を町が働きかける雇用の場所ということの確かに町の仕事として、募集してもゼロやったということもあるかもしれませんが、引き続きそういうことを募集をしていってもらいたいと、どうしても就労、ただでさえハンディキャップというものがあるわけですから、働く場所というのが少ないわけですから、なるべくそういった町が持っているものに関しては、そういう方が働ける場所というものを、つくってもらう、つくっていく必要性を、十分さっきも町長が理解をしておっしゃられましたけれども、引き続きその募集なりと、そういうことも訴えかけていくということ、していただけるのか、1点お伺いしたいということと。

細かい話になるかもしれませんが、さっきの飲食の話で、これから7月なるべく早く中日本はしてほしいという話の中でやって、てんやわんやの中でスタートしたパーキングではありますけれども、その中で今後のその飲食に対する対応というものを十分やっていけるのかという部分でお伺いしたい。

その当初のシミュレーションの計画、僕らも事前に資料をいただいて、計画であったわけなんですけれども、その中で4月、これから4月に入って、そのパートさんの定員の数も7人、8人でだいたい大紀、大台と同じぐらいの数になって、スタートしていくという話なんですけれども、たぶん飲食が始まったらまた再度募集をかけて、パートさん等の雇用も増えると思うんですけども、そこら辺増えるのか増えないのか、たぶん増えると思って僕はこうやって聞いておるんですけども、増えるようであるのか、今お伺いしたい。

後、色々あるんですけども、時間の関係上もございまして、1点だけなんですけれども、話、これからのたぶん予想ですよ、パーキングたぶん責任者の方が60半ばの方ですよ。ということは何年かしてから、副責任者に責任業務というのをまкруると思うんですけども、これから先の話ですけども、そうなった場合というのは、また新しいポストして、考えていくのか。もう僕はもっと早いスパン、時期からこういうことはしっかり会社の理念として考えてかなあかんことやと思うので、その長期的な流れという中で、会社運営というものの人事というもので、その副店長が店長にあがると思う

んですけれども、またそういった更に誰か入れてということも考えていくのかどうか。

それは今から提言していくという答弁で結構ですが、お伺いしたいと思います。

-----

議長（中西 康雄君） 尾上町長。

-----

町長（尾上 武義君） 今後障がい者のある方の募集については、こういったような施設で、その施設によりけりだとは思いますが、当然採用をかけていくという方向性はあると思います。

それから、飲食のこれ7月ということで、交渉はしておりますけれども、最終7月ということで思っておってください。連休とかあるいは6月とか、もっと早ければ早いほどよろしいので、そういう早い対応を図っていきたいと思います。そのための人員、これは上下線で各3名ずつ必要になるのかと思います。必要になってきます。そういうことでトータル6名ぐらいというふうに思います。それはそれで募集をかけさせていただかんらんというふうに、今より増えるということになります。

その責任者も60半ばというふうなことでもございますので、いずれかはということになります。当然いま副責任者はその下で色々やっておりますから、上がっていくんだろうと思いますが、当然その後をどうするのといったら、今の従業員の中でも有能な人がおれば、そうなるかもわかりませんし、新たに必要やねとなったら、どうなるかそれはケースバイケースでやっていかねばならんだろうというふうに思っているところでございます。

そういうことで対応してまいりますので、どうぞよろしく申し上げます。

-----

議長（中西 康雄君） 小野議員の一般質問が終了いたしました。

これで本日の一般質問を終わります。

-----

## 散会の告示

議長（中西 康雄君） お諮りします。

議事の都合、議案調査のため3月10日を休会としたいと思います。

ご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（中西 康雄君） 異議なしと認めます。

したがって3月10日を休会とすることに決定しました。

以上で本日の日程は全部終了いたしました。

本日はこれで散会します。

次回は3月11日、水曜日午前9時より再開をいたします。

皆さん長時間お疲れさんでございました。

なお明日、中学校の卒業式でございます。それぞれ出身校へご都合がつけば、お祝いにお出掛けいただきたいと思います。

皆さんお疲れさまでした。

（午後 4時 16分）